

テーマ	<p>1. 子どもの遊びと学びをテーマにした、世代間・異年齢交流のための「子ども・多世代ふれあい広場」</p>	<p>2. 体験学習などを通じて、環境共生型のライフスタイルを支援する「エコライフ交流サロン」</p>	<p>3. 祭りや伝統芸能を中心に、観光・文化資源を体感し、情報発信する「知識体験型観光ステーション」</p>	<p>4. 市の地域資源のひとつであるサッカーを楽しむための「サッカープラザ」</p>
コンセプト	<p>五感（見る・さわる・聴く・味わう・嗅ぐ）を用いた多様な体験活動を通じて、子どもたちが夢を育むとともに、人との関り、親との関り、モノとの関りを身につける。 子ども・親・お年寄りなどの多世代が互いに交流する。子どもが仲間や他学年の子と遊んだり、ともに時間をすごす。</p>	<p>環境と共生できる新しいライフスタイルの創出を支援し、情報発信する。 体験学習などを通じて、エコライフを次世代に伝えていく。 環境負荷の少ない都市生活の普及を図る市民活動の活性化を図る。</p>	<p>伝統的な文化・芸能を体感し、学ぶ。 伝統的な文化・芸能を保存し、次世代に継承していく。 観光・文化資源などを情報発信するとともに、地域の特産品をアピールする。</p>	<p>サッカーに様々な切り口でアプローチするなかで、人々の生活を豊かにする。 サッカーを通じて様々なネットワークをつくり、まちの賑わいや市民間の交流を活性化する。 サッカーをまちの誇りとして広くアピールする。</p>
個別機能例	<p>子育て支援・学習機能 ・遊具や身体を使った多種多様な遊び ・芸術、音楽、スポーツ、おもちゃ等の体験、鑑賞、学習 ・友達づくり等交流のための各種イベント 親育ち支援機能 ・育児不安解消等のための相談 ・リフレッシュの支援 ・一時保育 ・交流、仲間づくりの支援 世代間交流機能 ・子どもとお年寄りが一緒に遊んだり、ゲームを楽しんだりする。 ・お年寄りが子どもに昔あそびなどを教える。 子どもの居場所機能 ・子どもたちが一緒に遊んだり、歌ったりするなど、自由に時間を過ごせる。</p>	<p>エコライフ創造機能 ・エコ技術・エコ製品の開発支援 ・新商品のマーケティング支援 エコ情報発信機能 ・エコ技術、エコ製品の紹介 ・エコライフの紹介 エコライフ体験機能 ・体験型の環境学習（学校との連携） ・先端的なエコ技術の体験 市民活動支援機能 ・市民団体・ボランティア等の人材育成 ・市民団体等の活動支援、交流</p>	<p>伝統的な文化・芸能の体験機能 ・お囃子、神楽、和太鼓など、さいたまの伝統芸能の体験教室 ・文化・伝統芸能の発表会 伝統的な文化・芸能の紹介・継承機能 ・展示・映像による紹介 ・さいたまの文化・伝統芸能の継承者育成のための本格的な学習機能 観光情報発信機能 ・観光・文化資源など、さいたま市の地域資源の情報発信 ・市内の祭り、イベントの情報発信 物販・飲食機能 ・特産品の情報提供 ・特産品の販売・賞味</p>	<p>「楽しむ」機能 ・サッカーの体験・体感・飲食・物販 「交流する」機能 ・場を共有しながら、観戦・応援する ・地元Jリーグチームとの交流 「知る」機能 ・サッカーを知る ・さいたま市とサッカーとの関りを知る 「育てる」機能 ・サッカーに関する講演会やイベント開催 ・学術機関との連携による研究成果の発表 ・サッカー(文化)指導者の講習</p>
施設整備例	<p>プレイルーム、視聴覚室 相談室、電話相談室、リフレッシュルーム（親の保養室）、託児室、交流サロン、図書資料室 多目的スペース、おもちゃの部屋 多目的スペース、プレイルーム</p>	<p>新商品のマーケティングのためのアンケートスペース 展示室（ハンズオン型を含む）、大型ディスプレイ（視聴覚室） 実習・実験室 インフォメーションコーナー、ミーティングスペース、研修室（セミナールーム）</p>	<p>練習スタジオ、楽器などの展示（ハンズオン型）、小ホール パネル・実物などの展示、大型ディスプレイ(ビデオ放映)、実演スペース、練習スタジオ パネル展示、大型ディスプレイ(ビデオ放映)、観光ナビ ショップ（特産品の販売）、レストラン（名物、特産品等の販売）</p>	<p>ゲーム性のある体験機器、技術研究展示、カフェ・レストラン、ショップ 大型ディスプレイ（パブリック・ビューイング）、サテライト・スタジオ 展示スペース、ライブラリー（書籍、映像） レクチャールーム</p>
屋上の活用	<p>運動遊具、ミニ屋外ステージ、多目的広場</p>	<p>イベント広場</p>	<p>イベント広場</p>	<p>フットサルコート</p>
提案	<p>エコ・伝統文化・スポーツなどについての学習機能を追加する。 地域による子育て支援機能を追加する。 テーマ性を持たせるなど、ソフト面の充実により、にぎわいやシンボル性を高める。 施設のネーミングを公募する。 屋上をフットサルなどのスポーツも楽しめるようにする。</p>	<p>市民団体の活動拠点支援（事務所等）を取り入れる。 多くの世代が利用できるように、遊びや体験を取り入れ、楽しさを出す。</p>	<p>市民活動を中心とし、観光は付随的機能とする。 県施設（コンベンション）との連携を図る。 着物の着付やお茶など、多世代交流を取り入れる。</p>	<p>屋上をフットサル以外のスポーツに利用（ミニバスケットなど） サッカーファン、子ども達にとっては楽しい施設であり、新都心での設置がない場合には、今後の整備方針を示す必要があるのでは。 利用者が限定的であるため、多世代の健康づくりブースがあるとよい。</p>